



## NPOの農とみどりとテヅクリはたけの会の関係

NPO「農とみどり」を支えている活動に「テヅクリはたけの会」があります。この会は任意団体という分類に属してします。2019年の2月から活動しています。



「テヅクリはたけの会」の月例行事「てづくり市場」

### 世田谷コミュニティ財団の設立記念助成プログラム

“ココロマチ ～農ある世田谷は実りを増やす～” のコンテストに応募しました。そこで説明した活動の取り組みが公開されています。以下にご紹介します。

### 「農が結びつける農家と住民の輪の検証プロジェクト」

都市部でも今も畑が残る地域を中心に、次代につながる「農のある街づくり」の手本を実現させる。

都市化した生活を送る者は、住環境の中の自然の喪失、身近な地域の以前は普通に存在した景観、共有していただいていた空間（たとえば、雑木林、畑の傍の地面、農道）が消えてしまい、農地・農家を失った重大さに気づき初めている。

そうした中で、失ったものの復活・回避につながる新たな価値は、「農（農家）と食（住民）の相互理解、共有共生」から生まれるだろう。

そして継続していただきたい。

都市化した生活を送る人達に、畑の土と、育つ野菜と天空に触れる気持ち良さを知っていただきたい。

我々はさまざまな制約・課題を乗り越えて農と食の基本の確認と、畑の継続問題に、取り組む仲間（コミュニティ）が出来るか（育つか）の取り組みに邁進する。以上。

また運営ルールは、テヅクリはたけのLINEグループのアルバムに掲示しています。

（2019年度）「テヅクリはたけの会」のルール

- ・ 制約は少ないコミュニティとして運営する
- ・ 1.農と食の基本、2.畑の継続、に関心がある仲間として運営する。
- ・ コミュニケーションに参加（聞く・読むだけでもOK）する。
- ・ 批判・悪口 は禁止する、 応援・指摘・助言・提案 は歓迎する。
- ・ 現場（リアル）活動の参加を前提にしない、それぞれの判断で決めること。
- ・ テヅクリはたけの会の中に、イベント活動グループを立ち上げて良い。  
（手順などは未定・不明）
- ・ 事務局の判断のルールに即さない活動があった場合は、指摘または脱会を促します。（2019.06.09）
- ・ 緩い集まりへの参加≡入会≡テヅクリはたけの会（LINEグループ）の参加
- ・ 1.農と食の基本、2.畑の継続、に関心があると事務代表の確認が文字として記録された場合、入会を承認する。
- ・ 本資料を、入会の前後に目を通すこと。（2019.06.14）

このルールは今も健在です。

ですので、会でのコミュニケーションで陰口悪口はなるべく我慢してくださいね(笑)。



さてNPOの農とみどりとテヅクリはたけの会は、どういう関係なのでしょう。

一言での説明は難しい、あえて言えば”親子の関係”とでも。

NPOは法人です。法人は”会社の様な団体”を指します。そして行政は法律で法人というヒトも管理しています。

要は法人はヒト（人）の1つのタイプです。生物としての人は、1人1人生き物。法人は法で出来た人のようなもの。

法人は法の管理が及んでいるヒト集団という説明で良いと思います。

生き物のヒト向けの法律もあれば、生き物でない法人むけの法律がある。

また法人には社団法人とかいろいろのタイプがあり、NPO法人というタイプの法人は社会貢献を目的にしているので税制の考慮のほか法務局でNPO運営の取り決めがされています。

そして法人の最大のメリットは、生き物の様に死なないことです。

つまり法人ならメンバーが何人か死んでも（いなくなっても）継続していけます。

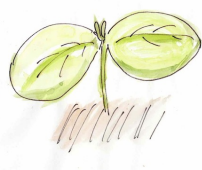
「テヅクリはたけの会」は任意団体という分類で、法律での規定はありません。  
任意団体は聞きなれない言葉ですが世の中に普通にあり、名の知れている団体も多数ある様です。  
XXX学会とかXXX協会とか町会も任意団体らしいです。  
ご説明がうまくできないので勉強しておきます。



再確認です、NPOの”農とみどり”とテヅクリはたけの会の関係は親子、強く連携しています。  
子が親の農とみどりを肩車で持ち上げている様に、私には見えます。  
継続が大切なのです。継続に価値があります。

農とみどり（2016年～）とテヅクリはたけの会は連携して「農の継続」に取り組んで参ります。  
この連携で最大テーマの「農の継続が実現する社会」を目指して活動して参ります。

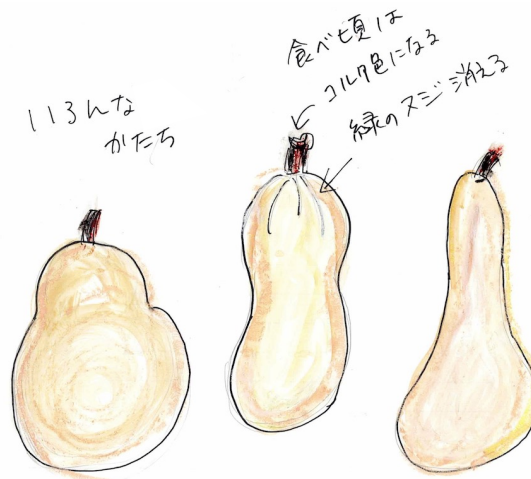
（記：田島文一 2023年10月24日）





## 巷で人気！？バターナッツスクワッシュ

バターナッツカボチャ栽培期間 5月～9月



何ともユニークな形をした「バターナッツカボチャ」をNPOの畑で栽培したのは作付け計画にカボチャを入れていたのと、いいタイミングで畑仲間から苗をもらったから。

バターナッツカボチャのほかに雪化粧、えびすなどの苗ももらい、植えたがすぐにウリハムシの攻撃に遭い、葉っぱが食い荒らされて全滅しかかった。畑の手入れは週末に限られていたため対策も後手後手。

周りに「手伝って」の一言が発信できないほど本業が忙しかったが、察してくれた一部のメンバーが水やりを受け持ってくれたり、お手製の光合成細菌を散布してくれたりした。

そのかいあってバターナッツは20個ほどの収穫。

空中栽培と地面を這わせた放任栽培の両方トライした結果、のびのび地面を這わせた方が大小さまざまではあるがたくさん実をつけてくれた。

あまり手をかけずに収穫できてしまったというのが感想です。

それでもいざ販売となったらマルシェに出す前に乾いた布でバターナッツのつるつるした肌ざわりに磨きをかけたり、ちょっとでも見栄えをよくしようと考えると、人に提供する作物は簡単ではない。

(記：わくさち 2023年10月23日)

## 23年10月開催の野菜の仕入と販売

仕入 合計18400円 (110点) 103 (売れ残り7点) 18580円

品目	単価(個数)	売り数	売上
・ 永井農園：	4250円(21)	21	
ナス	100 (05)	05	500
キュウリ	150 (05)	05	750
落花生	450 (03)	03	1350
ポップコーン	200 (10返可)	07	1400
菊の花	250 (05返可)	01	250
・ 石井農園	6750円(50)	43	5900
大根	150(10)	10	1500
キュウリ	150(15)	12	1800
葉大根	100(10)	06	600
炒チャオレタス	100(05)	05	500
ピーマン	100(05)	05	500
中玉トマト	200(05)	05	1000
・ 服部農園	3500円(14)	14	
ミカン	200 (05)	05	1000
柿	200 (06)	06	1200
バジル	100 (03)	03	300
・ 田中農園	1100円(09)	09	
シークワサー	100 (07返可)	01	
青ゆず	100 (07返可)	02	
ムカゴ	200 (07返可)	02	
シシトウ	100 (05返可)		
ピーマン	100 (05返可)	04	
・ 小澤農園	2800円(16)	16	
ミカン	200 (12返可)	03	600
キウイ	200 (10返可)	09	1800
スダチ	100 (14返可)	04	400

## 野川、サスティナブルな野鳥の楽園

野川は、二子玉川から成城に向かう玉堤通りに沿ってのんびりと流れています。その両脇にはちょっと細いですが、ずっと遊歩道が続いていて、実は、この道は世にも珍しい「野鳥自然観察園」なのです。驚くほどたくさんの珍しい野鳥に出会える至福の「バードウォッチング」の場です。

はじめて出会う珍しい鳥たちには本当に感動します。時々見かける中で、何より立派な主役が、1メートルもあるかと思う「アオサギ」です。銅像のようにずっと動かずに何十分も立っていて、時々長くくちばしや顔を動かすだけ。いつ動くのだろうかと飽きずに眺められます。しかも、そのアオサギがいざ飛び立つ時は、飛翔の姿が実に格好いい。

そしてもう一方の主役が真っ白な姿の白鷺たち。くちばしの白い「ダイサギ」、黒い「コサギ」。細い足を折り曲げて水辺をゆったりと歩き回る姿がとても優雅で凛々しい。一匹の時も群れの時もありますが、たぶん野川ではいつでも会える見飽きない存在です。



また、逆にジタバタと慌ただしく餌を探して、水の中を泳ぎまわるととても面白い「クロサギ」がいます。この川はサギたちのパラダイスなのです。

そして、もうひとつの宝物。極めつきは、突然現れて、川面にそって目にもとまらぬスピードで高速移動する鮮やかなコバルトブルーの弾丸。信じられないほど美しい「カワセミ」です。チチッ、という高いトーンの鳴き声が聞こえたら、きっと近くにいるはず。めったに会えないけど、二羽一緒に飛んでいる姿を見たこともあります。会えるとその日1日幸せな気分になれる鳥です。



人間は、安全のためという自分たちの都合でこの野川の川沿いを立ち入り禁止としているのですが、鳥はそれをよく知っていて、天敵から守られる絶好な場所として安心して暮らしている。それこそ喜多見は鳥たちにとってのサスティナブルな理想の命の楽園なのです。

しかも彼らは、地べたにへばりついてちょこまか生きている人間には絶対に体験できない、空という3次元空間を自由に飛び回れる特権を当たり前享受着いる。喜多見の鳥たちは羨ましい存在だなあ、と心から思います。

秋の野川沿いは爽やかな散歩道です。一度、ぜひスマホかカメラを持って散策に来てみてください。きっと幸せになれますよ。

(記：泉博史 2023年10月28日)

## 焼き芋募金、順調！

次の 2023の  
**落ち葉ひろいリレー**  
**焼き芋 募金**のお願い  
目標額：1万円



2022 喜多見 地区開催 の落ち葉ひろい  
1. 慶元寺 12月11日(日) **焼き芋** やいました  
集合場所：慶元寺(山門前) 10:00~11:30  
2. にごいや の樺 11月13日 から 6回  
この落葉拾いリレーは、世田谷みどり33協働会議 と  
世田谷区みどり政策課 との共同事業です。  
主催：世田谷みどり33協働会議  
協力：農とみどり(NPO) / テツクリはたけの会 / 世田谷トラスト街づくり/ ほかボランティア

12月の慶元寺の落ち葉拾いイベントでは毎年参加者にその場で焼いた焼き芋が振る舞われています。

今年はその芋を買うお金を募金で賄おうとチャレンジしました。  
名付けて『焼き芋募金』

1万円を目標に、てづくり市場のクツログコーナーに募金箱を置いて集めています。  
集まった額は 10月迄で 8,183円！  
目標の1万円まで後僅か。

落ち葉拾いイベント当日までに達成できるか、楽しみです♪

募金箱（トレイ）が設置されます、次回のとづくり市場（11月19日）です。  
よろしくお願いいたします。

（記：関屋利治 2023年10月28日）





みどり（はたけや落ち葉も含む）への関心を高めること・共助の精神を再生させること  
 ・もっと コミュニティの絆（きずな）を深めること…  
 …だから、みんなで 落ち葉 を ひろい ましょう ！！

この落ち葉拾いりレーは、世田谷みどり33協働会議と世田谷区みどり政策課との共同事業です。



今月のお知らせは以上です。  
 ご不明な点や、ご意見ご希望はなんなりと、このメールアドレスにお願いします。

Copyright © 2023 せたがや喜多見農とみどり, All rights reserved.

メールアドレス: [tezukuri.hatake@gmail.com](mailto:tezukuri.hatake@gmail.com)

喜多見4-9-7 世田谷区, 東京都 157-0057